年　組　名前

道新でワークシート

ラジオ通じ世界を広げて

伸びゆく君へ

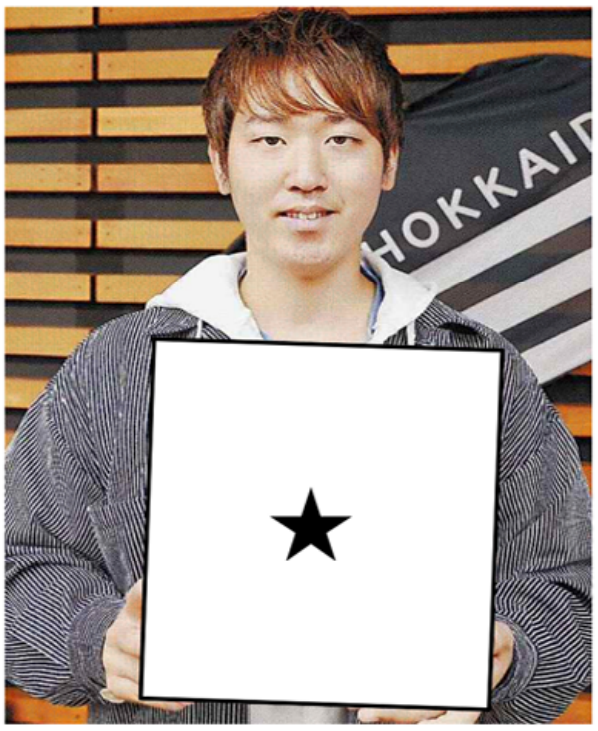
学校を訪問したり電話で話を聞いたりするなどしてリスナーと触れ合う、4時間生放送の番組「IMAREAL」（イマリアル、金曜午後6時から）のパーソナリティーを務める。「根っからのラジオっ子」は、中学生のころには、将来はラジオDJになると心に決めていたという。

TOKYO FMの学生向け番組「スクール・オブ・ロック」を聞いていた中学2年のある日、同じ年の女の子が、いじめや家族からの暴力を受けていると番組内で話していました。その子は死にたいとも話していたんですが、最後に「私にはスクール・オブ・ロックという居場所ができたので、頑張っていきます」と言いました。その時僕は14歳ながらも、誰かの居場所をつくりたいと思ったのが最初です。

夢への第一歩として、東京の大学へ進学。メディア関係を学べる学部を選び、学外でも積極的にラジオや音楽などに触れる時間を大切にした。

FM北海道アナウンサー 森本優さん

ラジオの仕事に就くには地元だと可能性が限られてしまう気がして、エンターテインメントがあふれている東京を目指しました。学生時代はラジオの公開生放送を見学し、音楽ライブは4年間で200回行きました。受け身ではなく、自分から行動して人と会ったり見たり感じたりした経験が、今につながっていると感じています。



もりもと・ゆう　1991年6月、高知県生まれ。法政大卒業後、2014年にFM北海道（AIR-G）に入局。パーソナリティーを務める「イマリアル」、「レバンガステーション」（土曜午前7時30分～8時）は自ら企画した。子育て応援番組「にこにこぎゅっ」（日曜午前8時30分～9時）にも出演。

就職活動で全国の放送局を受け、大学卒業半年後の2014年9月に、エフエム北海道（札幌）にアナウンサーとして入社した。

大学の卒業式では、就職先が決まっている仲間の輪に入りづらいというのはありましたが、僕の場合は絶対やりたいことがあった。あとはそれに向かって頑張るだけと考えていました。17年から始まった「イマリアル」はパーソナリティーがいろんな所に出かけ、ラジオを聞いたことがない人にも聞いてもらう「ラジオの入り口」。学校を取材することも多く、「学生向け」と思われていますが、80代の方も聞いてくれています。若者の悩みに対し、親世代から「自分も同じように悩んでいた」とメッセージが届くこともあります。

「イマリアル」は今年の日本民間放送連盟賞（民放連賞）の「ラジオ生ワイド番組部門」で最優秀賞を受賞。コロナ下での部活動の大会を控えた女子高校生と電話をつなぐなどした日の放送が、学生のリアルな声を拾っていると評価された。

僕らにとってはすごく日常の、いつもやっている番組を評価されたのは、やってきたことが間違いじゃなかったんだと確認する機会になりました。「まだやってたんだ」と言われるまで、番組を続けたい。番組を始めて4年になり、就職や進学を報告してくれるリスナーもいます。学校の先生ではないけど、成長を見守れるのはうれしいです。

ラジオから聞こえる言葉に励まされてきた。だからこそ、自分自身もラジオから「大丈夫」のエールを送る。

ラジオの好きなところは距離感というか、自分に向かって話しかけてくれている感じがするところ。番組でも「大丈夫」と無責任に言っているんですけど、「大丈夫」って言われることは安心できて、1人じゃないと思える気がするんです。学生のうちは学校と家の往復で、生きている世界が狭くて、視野も狭くなっているかもしれない。でも、僕自身がそうだったように、ラジオを通して世界を広げることができると思います。新しい世界に踏み出す力を、ラジオから受け取ってもらいたいです。

（聞き手・光嶋るい）

2021年10月26日朝刊　全道版　教育面　19ページ（記事は一部再編集しています）

年　　組　　名前

道新でワークシート

①ＦＭ北海道アナウンサーの森本さんは、何がきっかけで今の仕事を目指しましたか。記事を参考にして、後の条件にしたがって、簡潔に書きなさい。

《条件》
・そのきっかけが、具体的にいつ頃かを明らかにすること
・番組名を入れること
・５０字程度で簡潔にまとめること

																			20
																			40
									50										

②森本さんは、高知県から東京の大学に進学しましたが、その選択をしたのには理由があります。その理由を「《　Ａ　》から、《　Ｂ　》た。」の形になるように、それぞれ空欄Ａ・Ｂに当てはまる言葉を、本文から抜き出して答えなさい。

《Ａ》
《Ｂ》

③森本さんが色紙《★》に書いた言葉を次の空欄に当てはまるようにして、記事の最終段落（枠内）から漢字３字で抜きだして答えなさい。

≪　　≫な
大丈夫